⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」をよくお読みください。

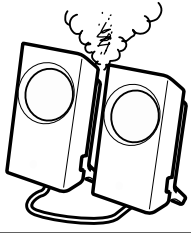
定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら

❶ 電源を切る
❷ ACパワーアダプターを抜く
❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災
感電

行為を禁止する記号

禁止
接触禁止
ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

⚠警告 下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

火災　感電

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

禁止

ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

禁止

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲

による**大けが**や**失明**を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

乾電池
単4形アルカリ、単4形マンガン

⚠危険 **乾電池が液漏れしたとき**

乾電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

SONY

2-637-235-**63**(1)

アクティブスピーカーシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SRS-M30

正しくお使いいただくために

安全上のご注意

安全について：
付属のACパワーアダプターをお使いになるときは、家庭用電源コンセント（AC100 V）につないでお使いください。

ACパワーアダプターについて：
ACパワーアダプターを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずACパワーアダプターを持って抜いてください。

留守にするときは：
本機のPOWERスイッチをOFFにしただけでは、電源は完全に切れていません。
ご旅行などで長い間お使いにならないときは、必ずACパワーアダプターをコンセントから抜いてください。

異物について：
特に、ジャックには異物を入れないでください。故障や事故の原因になります。

異常や不具合が起きたら：
万一、異常や不具合が起きたときや異物が中に入ったときは、すぐにACパワーアダプターを抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

取り扱い上のご注意

- スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整してあります。分解、改造などはしないでください。
- キャビネットが汚れたときは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。
- 次のような場所は避けてください。
  — 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど、温度の高い所。
  — 窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。
  — 風呂場など、湿気の多い所。
  — ほこりの多い所、砂地の上。
  — 時計、キャッシュカードなどの近く。（防磁設計になっていますが、録音済みテープや時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなどは、スピーカーの前面に近づけないでください。）
- 平らな場所に設置してください。
- 設置条件によっては、倒れたり落下したりすることがあります。貴重品などを近くに置かないでください。
- 持ち運ぶ際、フロッピーディスクやクレジットカードなど磁気の影響を受ける物は、スピーカーシステムの近くに置かないでください。

モニター画面に色むらが起きたら

このスピーカーシステムは防磁型（JEITA*）のため、モニターのそばに置いて使うことができますが、モニターの種類により色むらが起こる場合があります。

色むらが起きたら
いったんモニターの電源を切り、15～30分後に再び電源を入れてください。

それでも色むらが残るときは
スピーカーをさらにモニターから離してください。

さらに
スピーカーの近くに磁気を発生するものがないようにご注意ください。スピーカーとの相互作用により、色むらを起こす場合があります。

磁気を発生する物
ラック、置き台の扉に装着された磁石、健康器具、玩具などに使われている磁石など。

主な仕様

スピーカー部

型式	フルレンジ後面開放型 防磁型（JEITA*）
使用スピーカー	直径39 mm
インピーダンス	8 Ω
定格入力	1 W
最大入力	2 W

アンプ部（左スピーカー）

実効出力	1 W + 1 W（全高調波歪10%、1 kHz、8 Ω）（JEITA*）
入力	ステレオミニプラグ付き入力コード（約75 cm）× 1
入力インピーダンス	4.7 kΩ（1 kHz）

電源部・その他

電源	単4形乾電池3本、DC 4.5 V（付属のACパワーアダプターを接続してAC100 V電源から使用）
最大外形寸法	約59 × 105 × 34 mm（幅／高さ／奥行き）
質量	左スピーカー：約 90 g 右スピーカー：約 110 g （乾電池含む）
付属品	ACパワーアダプター（1） 取扱説明書（1） 保証書（1） ソニーご相談窓口のご案内（1）
別売りアクセサリー	プラグアダプター PC-234S（ステレオ標準プラグ ⟷ ステレオミニジャック）、PC-236MS（ミニプラグ ⟷ ステレオミニジャック） 接続コード RK-G138（ステレオ2ウェイプラグ ⟷ ステレオミニジャック）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* JEITAは（電子情報技術産業協会）の略称です。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

http://www.sony.co.jp/support

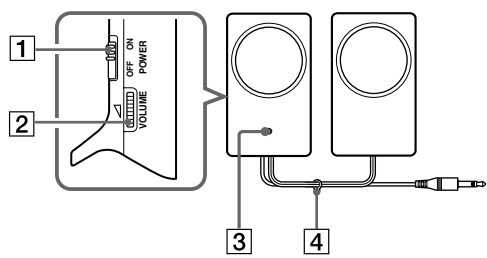
使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル ･･････････0120-333-020	フリーダイヤル ･･････････0120-222-330
携帯電話･PHS･一部のIP電話 ･･････････0466-31-2511	携帯電話･PHS･一部のIP電話 ･･････････0466-31-2531
	※取扱説明書･リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

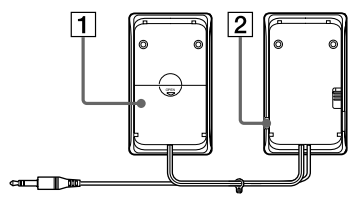
FAX（共通） 0120-333-389

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「309」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

各部のなまえ

前面

1 POWERスイッチ
2 VOLUMEダイヤル
音量を調節します。
3 POWERランプ
4 コードクリップ

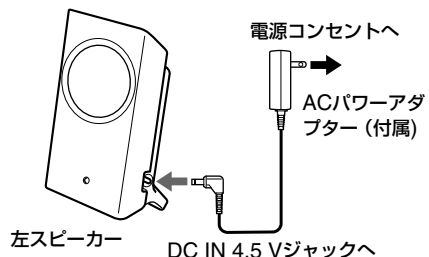
背面

1 電池ケース
別売りの単4形乾電池専用です。

2 DC IN端子
付属のACパワーアダプターをつなぎます。

電源について

本機は、付属のACパワーアダプターを家庭用コンセントに接続、または別売りの単4形乾電池3本を入れて使える2ウェイ電源方式です。本機をお使いになる状況に応じて、電源方式をお選びください。

電源コンセントにつないで使う場合

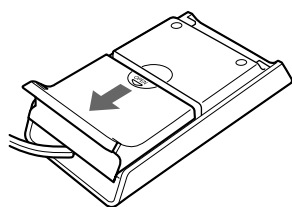
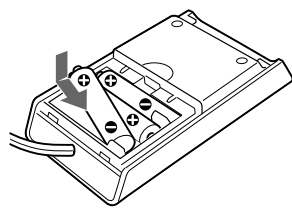
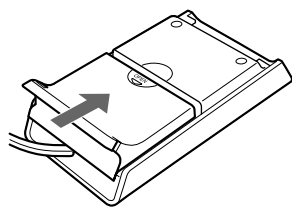
付属のACパワーアダプターを本機に接続します。本機にACパワーアダプターを接続すると、乾電池が入っていても自動的にコンセントからの電源に切り換わります。

ご注意

- この製品には、付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。付属以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

極性統一形プラグ

- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- ACパワーアダプターを本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- 火災や感電の危険をさけるために、ACパワーアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、ACパワーアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。

別売りの単4形乾電池を使う場合

1 右スピーカーの背面にある電池のふたの上部を軽く押しながら開ける。

2 別売りの単4形乾電池を入れる。

3 電池のふたを閉じる。

乾電池の持続時間　（5 mW + 5 mW出力時）

電池の種類	持続時間
ソニー単4形アルカリ乾電池LR03（SG）	約40時間*
ソニー単4形マンガン乾電池R03	約20時間*

* 周囲の温度や使用状態により、上記の持続時間と異なる場合があります。

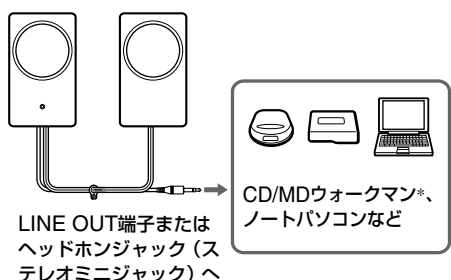
乾電池の交換時期

乾電池が消耗してくると、POWERランプのちらつきが多くなり、暗くなってきます。また、音がひずんだり、雑音が多くなったりします。その場合は、乾電池を3本とも新しいものと交換してください。

接続

本機にACパワーアダプターを接続、または乾電池を入れたら、聞きたい機器に接続します。

本機を聞きたい機器に接続する。

* "ウォークマン"、"WALKMAN"、"WALKMAN"ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。

右スピーカーから音が出ないときは

ラジオなどのモノラルジャックに接続したときは、左スピーカーからしか音が出ないことがあります。別売りのプラグアダプターPC-236MSを使うと左右のスピーカーから音が出ます。

標準タイプのヘッドホンジャック（カセットデッキなど）に接続するには

別売りのプラグアダプターPC-234S、または接続コードRK-G138をお使いください。

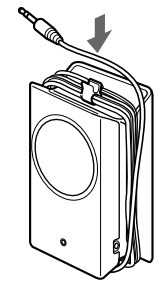
使いかた

突然大きな音が出て耳を痛めないように、本機のVOLUMEダイヤルでスピーカーの音量を最小にしてください。また、接続した機器の音量も下げておきます。

1 POWERスイッチをONにする。
POWERランプが点灯します。

2 接続した機器を再生する。
本機のスピーカーの音量を調節します。
聞き終わったら、POWERスイッチをOFFにしてください。

3 使用後はPOWERスイッチをOFFにする。
POWERランプが消灯します。

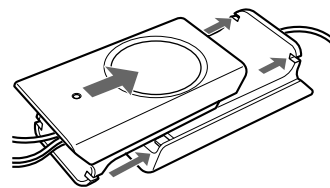
ご注意
- ラジオまたはチューナーを内蔵した機器に接続した場合、ラジオ放送が受信できなかったり、感度が大幅に低下する場合があります。
- ウォークマンなどのバスブースト機能は解除してください。ひずみの原因になることがあります。

コードを巻き取る

本機はコードを巻き取ることにより、ポーチやバックに収納したとき、コードがからみにくく持ち運びに便利です。

1 スピーカーを図のように背中合わせに組み合わせる

2 左スピーカーを上にし、反時計周りに巻き始める

コードリングを動かして、巻き終わり位置の調整をしてください。

3 コードをコードリンクにとめる

故障かな？と思ったら

症状	原因	処置
音が割れる、またはノイズが出る	入力信号が大きすぎる。	接続した機器の音量を下げる。
	接続した機器のバスブースト機能を使用している。	バスブースト機能を解除する。
	接続した機器のヘッドホンジャックに接続している。	接続した機器にLINE OUT端子がある時は、LINE OUT端子に接続する。
	入力コードがしっかり接続されていない。	入力コードを確実に接続する。
	テレビに近すぎる所に設置されている。	テレビから離して設置する。
	乾電池で使用している場合、乾電池が消耗している。	乾電池を3本とも新しいものと交換する。
音が小さい、または音が出ない	POWERスイッチがOFFになっている。	POWERスイッチをONにする。
	VOLUMEダイヤルが最小に絞られている。	VOLUMEダイヤルで調節する。
	入力コードがしっかり接続されていない。	入力コードを確実に接続する。
	入力信号が小さすぎる。	ヘッドホンジャックに接続した場合は、接続した機器の音量を上げる。
	乾電池で使用している場合、乾電池が消耗している。	乾電池を3本とも新しいものと交換する。
電源ランプがちらつく	音量を上げたときに電源ランプがちらつくことがありますが、故障ではありません。	

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではアクティブスピーカーシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。